

## 矢崎財団が研究助成金授与／新材料・エネ分野など16人に

2021/03/25 鉄鋼新聞 4ページ 563文字

自動車用ワイヤハーネス世界大手メーカーの矢崎総業が設立した矢崎科学技術振興記念財団は、2020年度の研究助成金を16人に授与すると発表した。同財団では83年以来、科学技術の発展を目的に研究を助成。今回も新材料・エネルギー・情報の3分野の研究者に助成金を交付する。同財団が特定したテーマにふさわしい研究を支援する特定研究助成には1千万円、独創性が評価される一般研究助成には200万円、若手研究者が対象の奨励研究助成には100万円がそれぞれ贈られる。

今回の特定研究助成は高齢者・身障者への質の高い支援技術や、革新的なモビリティ社会の創出を支える基盤技術に関する研究がテーマ。9件の応募があり、東北大学の本間格教授の「有機電極材料を利用した高エネルギー密度・レアメタルフリー型リチウムオン電池の開発」が選定された。

一般研究助成には今回79件の応募があり、筑波大学の所裕子教授の「高性能蓄熱酸化チタンの開発」など5件が選ばれた。奨励研究助成には48件の応募があり、岡山大学の鈴木弘朗助教の「半導体原子層物質のプラズマを用いた低温・高速合成」など10件が選定。

過去に研究助成を受けた中から優れた業績を挙げた研究者が受ける「矢崎学術賞」は功績賞が東京大学大学院の田中雅明教授に、奨励賞は東京大学の三輪真嗣准教授にそれぞれ贈られた。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報(以下「情報」)の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.

自動車用ワイヤハーネス世界大手メーカーの矢崎総業が設立した矢崎科学技術振興記念財団は、2020年度の研究助成金を16人に授与すると発表された。同財団では83年以来、科学技術の発展を目的に研究を助成。今回も新材料・エネルギー・情報の3分野の研究

## 矢崎財団が研究助成金授与

### 新材料・エネ分野など16人に

層物質のプラズマを用いた低温・高速合成」など10件が選定。

過去に研究助成

究者に助成金を交付する。同財団が特定したテーマにふさわしい研究を支援する特定研究助成には1千万円、独創性が評価される一般研究助成には200万円、若手研究者が対象の奨励研究助成には10

の応募があり、東北大学の本間格教授の「有機電極材料を利用した高エネルギー密度・レアメタルフリー型リチウムオン電池の開発」が選定された。

を受けた中から優れた業績を挙げた研究者が受ける「矢崎学術賞」は功績賞が東京大学大学院の田中雅明教授に、奨励賞は東京大学の三輪真嗣准教授にそれぞれ贈られた。

一般研究助成には今回79件

